

One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ

Vol.3
2017

発行 大阪維新の会
 大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
 〒540-8570
 大阪市中央区大手前
 2丁目1番22号(大阪府庁内)
 TEL (06) 6946-5390
 FAX (06) 6946-5391

大阪維新の会 **中司 宏** の府政報告
なかつか ひろし

いのち輝く未来の大阪へ

中司 宏 政調会長が代表質問 府議会9月定例会

大阪府議会9月定例会が12月20日までの日程で開催され、中司宏・府議団政調会長が10月2日の本会議で代表質問、「いのち輝く未来の大阪」をテーマに、「世界で勝ち抜く成長戦略」「子ども・教育への投資」「健康長寿社会の実現」「都市環境デザイン」「行財政改革の実行」の5つの視点から松井知事はじめ府理事者の考えを質しました。

その中で、府政の重要課題である「副首都・大阪」の実現に向け、新たな大都市制度の構築と大阪万博誘致に全力を傾注すること、教育は未来への投資であり、全ての子どもたちの明るく豊かな学びを支える環境づくりに部局が連携して取り組むこと——などを訴え、「子どもの貧困」対策のため新たな基金の創設を求めました。



新たな大都市制度のあり方

中司 宏

先日「大都市制度(特別区設置)協議会」に「特別区(素案)」が提出された。大阪の成長を導き住民自治を拡充する新たな大都市制度に対する知事の思いと、来年秋の住民投票実施に向けた、住民にわかりやすい「協定書(案)」の取りまとめについて知事の考えを聞く。

松井知事

東西二極の一極として日本の成長エンジンの役割を果たしながら成長を遂げ、豊かで強い大阪の実現をめざすためには、都市機能の強化とともに大都市制度改革が不可欠だ。



松井一郎知事

制度改革への不安解消のために、特別区の財政基盤の安定化や住民サービスの継続、地域コミュニティの維持などが肝要だ。

こうした考えで「特別区(素案)」をたたき台に「総合区」制度と併せて議論を深めていく。

私立高校授業料無償化の継続・拡充

中司 宏

「私立高校の授業料無償化」制度は、教育の機会均等に大きな役割を果たしており、今後も継続していくべき。

子どもを3人以上扶養する世帯に対しては所得制限を設けない等、制度のさらなる拡充を図る考えは。

松井知事

授業料無償化は全国でもトップレベルの制度であり、中退率半減や屋間の高校進学率の上昇など大きな効果が表れた。

今後の無償化制度のあり方については、制度の根幹を維持し私立学校の状況を踏まえて今年度中にお示しする。

教育長

31年度以降、私立学校を取り巻く状況を踏まえ、多子世帯支援のあり方を含め、より効果的な制度となるよう検討していく。

「子どもの貧困」対策基金の創設

中司 宏

子どもの貧困対策は社会全体で取り組むべき課題。現在、府には子どもの貧困対策に特化した基金はない。

善意の受け皿を整備するため、子どもの貧困対策を目的とした基金を創設すべき。

松井知事

子どもの貧困対策に貢献したいという府民の思いをしっかりと受けとめる仕組みは重要。

新たな基金創設については、既存基金との棲み分けや対象事業の精査等、課題を整理し、具体的内容の検討を進める。

特殊詐欺被害への対策

中司 宏

昨年、府内の特殊詐欺被害は、過去最悪であった27年の数値を上回り、「非常事態」というべき危機的状況にある。

府警では、140人体制の緊急対策プロジェクトチームを設置し、組織一体となって取り組みを進めているが、特殊詐欺を撲滅するための検挙対策と防犯対策について聞く。

警察本部長

検挙対策は、犯行拠点であるアジトの摘発を強化するとともに、いわゆる「だまされた振り作戦」による検挙の推進や公開捜査など新たな捜査手法で検挙件数、人員ともに昨年同期と比べて増加している。

防犯対策は、高齢者の防犯教室を通じた注意喚起、電話番号の変更や防犯機能付電話の普及促進等を行っている。

府政に関する相談やお問合せは 大阪維新の会 大阪府議会議員 **中司 宏事務所**
 〒573-0022 枚方市宮之阪1丁目22-8-201
 TEL (072) 808-6128 FAX (072) 808-6138
 URL <http://nakatsukahiroshi.jp/>

2025国際博覧会 **万博**を 大阪・関西へ



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO 2025



World Expo 2025
Candidate

現在、インバウンドの増加などによる関西経済の好調が期待される中、さらにこの流れを確実なものにするためにも大阪・関西発展の起爆剤になる大きな「仕掛け」が必要です。

世界の人々が集い、ともに考え、行動する国際博覧会（万博）は、まさに大阪・関西の魅力やポテンシャルを世界に発信する絶好の機会となります。

2025国際博覧会開催の誘致実現に向け、府内における“盛り上がり”に皆様のご協力をお願いいたします。

誘致活動のロゴマーク：世界の人々を笑顔にさせるデザイン

万博の大阪誘致に向けた国内機運の醸成を

9月定例府議会代表質問 **維新府議団 中司 宏 政調会長**

中司 宏

他の立候補国との熾烈な競争に勝ち抜くには国内機運の醸成、特に地元大阪の盛り上がり不可欠。年明けのBIE調査団の視察に向け、行政や企業が柔軟な発想で自発的な取り組みを進めるべき。

松井知事

開催国決定が1年後に迫る中、誘致機運の醸成には、あらゆる主体が自発的に盛り上げていくことが重要。この間、各方面の積極的な働きかけで誘致委員会の会員数は当初の約150から8万を超えるまで拡大。この2か月で企業数は約1,100から約2,100に、自治体は約100から約140に増加した。更に賛同の輪を広げるため、誘致委員会の中核的な役割を担う府のトップとして、関係機関と連携しながら、あらゆる機会を通じて誘致活動への積極的な参加を働きかける。

中司 宏 政調会長

松井一郎 知事

総務常任委員会で質問

中司宏議員は、10月26日の総務常任委員会で質問に立ち、新たな大都市制度改革と併せ府内市町村が中核市並みの行政サービスを提供できるよう自治機能を充実する必要性を指摘し、府の支援策について質しました。

その他の主な質問項目は「ICT戦略策定の取り組み」「台風被害と避難行動要支援者への支援」「救急車のレスポンスタイム」「万博誘致における民間との連携とボランティア育成」など。



府政に対する意見交換会 枚方市の事業推進に向けて

大阪維新の会府議団では、平成30年度の事業計画策定に向けた府と府内各市町村との意見交換会を実施。枚方市は11月9日に、中司宏、岡沢健二両府議の出席のもと伏見市長ら市幹部と府の担当部署とが主な課題について議論を交わしました。

このうち、重点項目である「防犯カメラ設置に対する財政措置」「交差点改良・拡幅等府道の整備」「京阪連続立体交差に伴う再開発」「教職員の加配」「子どもの貧困対策」一などについて、府が取り組み状況を説明、市側と意見交換しました。

中司議員からは、新名神のアクセスとなる淀川架橋などの早期整備と、京都守口線など接続する府道の拡幅整備について強く申し入れました。



万博誘致委員会の会員になって応援しよう！ 会費は無料

<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/>

EXPO 2025

検索



会員募集

誘致委員会ホームページ

会員募集

会員登録フォーム

から登録

